【語法・構文】
コーパスにより進化した「使える」用例

畠山利一

語法の記述については，二つの方針を立てた。(1)現代英語の用法に合わないものは修正または削除する，(2)発信に必要な情報を追加し，発信に貢献しないものを削除する，である。『アクティブ ジーニアス英和辞典』（AGと略す）出版以降に出た，*Longman Grammar of Spoken and Written English* などの文法書，OALD6，LDOCE4，COBUILD3，CALD，MEDなどの英米の学習辞典はじめ，多くの資料を参照した。しかし，この改訂の最大の特色は，コーパスを使って，AGの記述の点検を行ったことである。コーパスは，主にウェブ上で公開されている，英米の新聞・雑誌の電子版と放送のトランスクリプトを集めて作った，独自のものである。これにより『プラクティカル ジーニアス英和辞典』（PGと略す）では数々の改善を行った。そのいくつかを述べてみたい。

1．新しい構文の導入

コーパスでviewの項を見ると，one's view is that節が多く見られる。次はその一部である。

My view is that Michael Eisner really would
But our view is that this is a distinct product,
The feminine view is that sensitivity is a great virtu

この構文は話しことばでよく用いられている。「私の考えは…です」と述べるときに使うことができ，発信のために使用範囲が広いと思われるので，My view is that she will be elected.（彼女が選出されるだろうというのが私の考えです）という用例を入れた。OCの授業でも利用できるのではないだろうか。この構文はproblemやtroubleでおなじみのもので，この2語についてはAGでもすでに掲載されているが，PGでは，従来知られている語のほかにコーパスで顕著に現れたものを採録した。もう1例あげれば，understandingの項にMy understanding is that there were 10 people on the boat.（船に10人の人が乗っていたと思います）を用例として追加した。

appreciateの項でも構文の追加を行った。［appreciate doing］の構文はすでに掲載されている。しかし，コーパスには次にあげるような［appreciate A doing］の使用例がかなり出てくる。

we'd appreciate them helping us bring our
I appreciate them memorializing those killed here,
I appreciate you being with us, Lin Wood

この構文表記とともに，例文としてI appreciate him coming to Tokyo and having a meeting.（彼が東京に来て会議を開いてくれることをありがたく思っている）を加えた。

2．使われない構文の削除・修正

AGのbrightの語義5「利口な」の項に［it is bright of S to do］の構文表記があり，It is bright of you not to follow his advice.が用例として出ている。文法書によればこの構文で用いられる形容詞には，kind，wise，goodなどがあるとされる。コーパスを使って検証すると，kind，wise，goodについては少数ではあるが使用例はある。しかしbrightについては使用例がない。

ほとんど使われることはないと判断して，bright ではこの構文と用例を削除した。

また，bright には［S is bright to do］の構文も表示されているが，コーパスではこの用例も見当たらない。ところが，enough が加わった［S is bright enough to do］の用例は多数見られる。よって，PG では You are bright enough not to follow his advice. を用例としてあげた。これは honest，bold についても同じことで，honest［bold］to do ではなく，honest［bold］enough to do の形で用いられる。

さらに，AG の urgent の項に He is urgent (with me) for money.（彼は私に金をくれとうるさくせがむ）という用例とその構文が表示されている。しかしコーパスに He is urgent .... のように人が主語になって「しつこく求める」の意味になる例はないので削除した。

3．語法注記の見直し

学生が書いた英語を読んでいると，We were bought tiny toys by my father. という文に出会った。文脈から「父に小さなおもちゃを買ってもらった」の意味のようである。AG で buy をみると「He bought her the hat.＝He bought the hat for her. 彼は彼女に帽子を買ってやった《◆受身形は She was bought the hat (by him). / The hat was bought for her.》」と書いてある。つまり受身形は，人が主語になる場合と，物が主語になる場合の二つあるということである。また，Swan. *Practical English Usage* second edition. 1995 に人が主語になる用例の We were all bought little presents. が出ている。

しかし，このような受身文はあまり見かけないように思い，コーパスで buy の受身形を検索した。次のように物が主語になる受身形の例はよくある。

the guns were bought in San Diego, something
a ring was bought on a walk around Monte

ところが Swan があげるような例は見当たらない。この調査を踏まえて，注記を「《◆受身形は The hat was bought for her. がふつう。人を主語にする She was bought the hat (by him). はまれ》」とした。文法的に正しい文であっても，一般的に使われる表現なのか，そうでないのかという情報も使用者には重要である。コーパスを使って可能なかぎり付け加えた。

4．発信型用例の追加

辞書は難しい構文や語の使い方に多くのスペースを割く傾向があるが，使用者が主に高校生である PG では，やさしいと思われる用例をあげることも有益であろう。国際化の進展によって，多くの高校生が短期・長期の留学に出かけ，国内でも，英語に接する機会が多くなっている。発信用に使える表現をたくさん習得することが望まれる。この観点から用例の見直しも行っている。

bright の構文については上で取りあげたが，コーパスで頻度が高いものは，She is very bright and very talented. のような文である。形容詞の使い方としては平凡なものであるが，使用範囲は広いと思われるので，用例として追加した。また，AG では，good の語義 4「親切な」で，I'm being good to you this morning.（けさはみなさんに思いやりを示しますよ）が用例としてあがっている。この文は使用される場面が限定され，受信用の情報である。それに代えて，He was good to me.（彼は私に親切でした）を用例とした。

上記の他に，共起する前置詞やコロケーションなどについてもコーパスによる検証を行った。その結果，PG では語法の記述はアップツーデートされ，現代英語の用法を反映するものになった。これまでにも増して強力な英語学習のツールになったと信じている。

（はたけやま　としかず・大阪国際大学教授）